

佐賀県有明海のノリ養殖とその取り組み

2024年度は浅海域の物質循環について改めて見直す機会としています。第4回 RACES セミナーでは、佐賀県有明水産振興センターから野口浩介ノリ研究担当係長をお招きして、有明海におけるノリの色落ち問題やその近況、またノリやその他の水産業の課題と現在の取り組みについて話題提供を頂きます。気軽にご質問いただける機会ですので、興味・関心をお持ちの方は、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

- テーマ 佐賀県有明海のノリ養殖とその取り組み
- 主催 一般社団法人 生態系工学研究会 (RACES)
環境研究総合推進費戦略プロジェクト S-23-3
- 日時 2025年3月22日(土) 14:00 ~ 16:50
- 場所 大阪公立大学 I-site なんば 2F C1
(大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル2階)
Zoomによるオンラインのハイブリッド形式
- 申込 下記の登録フォームにてお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/YcUjAGpELu>
- お問い合わせ 生態系工学研究会 事務局 e-mail: office@races.jp
- プログラム

14:00~14:05 趣旨説明

14:05~15:05 講演「ノリ養殖ってどうやってるの？」

野口 浩介 様 (佐賀県有明水産振興センター ノリ研究担当係長)

【講演要旨】全国各地で行われているノリ養殖ですが、種類としてはスサビノリが生産量の大部分を占めています。そして、佐賀県におけるノリ養殖が盛んになり始めたのは昭和 20 年ころから。それは、ある博士の世紀の大発見があったからこそ！佐賀県で行われているノリ養殖工程を主産地と比較しながら説明しながら、近年の課題について掘り下げます。

15:15~16:15 講演「ノリ養殖の課題解決に向けて」 野口 浩介 様

【講演要旨】佐賀県では赤潮プランクトンが長期化し、栄養塩が減少することによるノリの色落ち被害が大きな課題となっています。この色落ち被害がなぜ近年課題となってきているのか？過去の色落ち被害と比較しながら、その原因がどこにあるのか？気象・海況の変動なのか？二枚貝資源の減少なのか？について整理します。そして、課題解決に向けて現在行っている二枚貝振興や海況予測システムの研究についてお話をさせていただきます。

16:15~16:45 ディスカッション



【I-site なんば 会場案内】

- ・南海電鉄ご利用の場合
 - 南海本線 「なんば」駅 中央出口下車南へ約 800m、徒歩約 12 分
 - 南海高野線 「今宮戎」駅 下車北へ約 420m 徒歩約 6 分
 - ・大阪メトロご利用の場合
 - 御堂筋線 「なんば」駅 5号出口下車南へ 1000m、徒歩約 15 分
 - 御堂筋線・四つ橋線 「大国町」駅 1番出口下車東へ約 450m、徒歩約 7 分
 - 堺筋線 「恵美須町」駅 1-B 出口下車西へ約 450m、徒歩約 7 分
- (ご注意)
建物北側の大学専用入口からお入りください。本施設には、駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関もしくは周辺のコインパーキングをご利用ください。
URL : <https://www.omu.ac.jp/isite/access/>